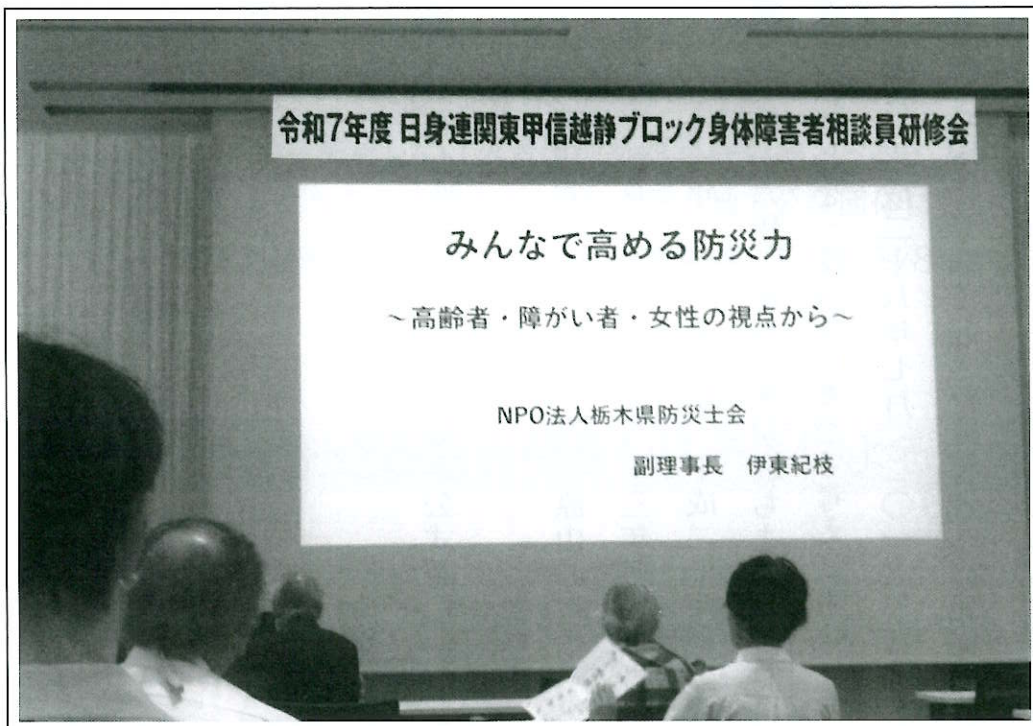


令和7年度関東甲信越静ブロック相談員研修会



(栃木県宇都宮市・ライトキューブ宇都宮)

静岡県総合社会福祉会館



(静岡市葵区駿府町)

ふれあい

南 身 会 報

【第54号】

令和8年6月発行

南伊豆町身体障害者

福 祉 会

【編 集】

文 化 部

印 刷 (有)サン印刷

身 体 障 害 者

手 帳 保 持 者 数

3 月 末 ・ 3 1 1 名

内 福 祉 会 加 入 者

令 和 8 年 3 月 末

現 在 ・ 3 1 名

【題 字】

会 員 渡 邊 慎 哉

令和八年度 会長挨拶

南伊豆町身体障害者福祉社会会長

竹河 十九巳

憲法公布から八十年、水俣病が公式認定から七十年になります。

また、昭和六十一年伊豆大島三原山の火山噴火（一九八六年）から四十年、平成二十三年三月東日本大震災（二〇一一年）から十五年、平成二十八年四月熊本地震（二〇一六年）から十年が経ちます。自然災害の発災時のことを一度立ち止まって考える年にしたい。

そして、平成二十八年七月（二〇一六年）神奈川県相模原市やまゆり園で起きた障害者への殺傷事件により十九名の命が奪われてから十年になります。「超高齢化社会とは、どんな強者でも強者のままでは死なない、弱者になつていく社会であること」「^{よわ}齢を重ねることとは弱いを重ねること」といったのは上野千鶴子さんである。この事件を忘れることなく節目の年に思い起

こし、再度この事件で提起された諸問題を再考する年ともしたいものである。

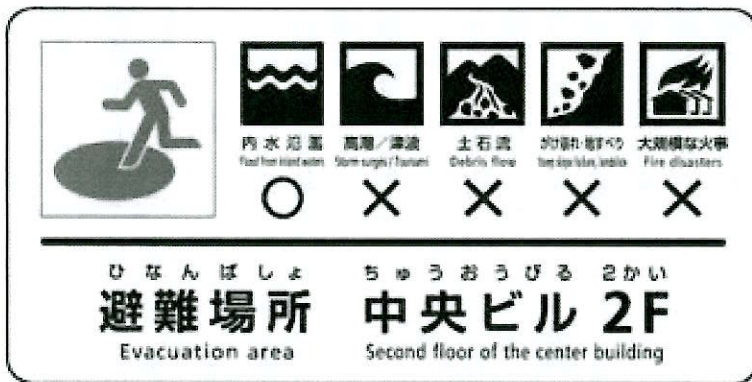
ところで、日本国憲法第八十九条の規定から民間社会事業に公的助成を可能にするための「措置制度」から平成十二年「社会福祉事業法等改正法」により「契約に基づく利用関係」に移行してから四半世紀がすぎました。

また、障害者差別解消法の「合理的配慮」の提供を民間事業主に義務付ける「改正障害者差別解消法」が令和三年五月成立しました。そして、令和六年四月から改正障害者差別解消法施行されました。

昨年に引き続き「障害に関する共生社会づくり」の視点から社会の動きを見ていきたいと思えます。

内閣府は、消防庁とともに、地方公共団体に対して指定緊急避難場所の指定等を促しているところである。また、災害の種類ごとに指定緊急避難場所を指定することとなっているため、案内板等を整備又は更新する際は、避難者が明確に判断できるように制定した「災害種別避難誘導標識システム（JIS Z 9098）（平成28年3月）」にならいう表示するように全国の地方公共団体に呼び掛けている。なお、災害種別避難誘導標識システムの国際規格（ISO22578）が令和4年2月に発行された。

災害種別避難誘導標識システムによる案内板の表示例



- ・避難場所を表す図記号（必須）
- ・災害種別一般図記号（必須）
- ・適不適表示マーク（適しているものに“○”を、不適には“×”を示す。）
- ・避難場所であることを記載
（避難場所の名称 記載例）
- ・外国語併記が望ましい（英語併記の例）

出典：内閣府資料



令和7年度 南伊豆町身体障害者福祉会事業報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

令和7年

- 4月12日 スポーツ部長会議 (長泉町・長泉町福祉会館)
- 15日 相談日 (南伊豆町健康福祉センター)
- 22日 東部常任理事会 (監査会) (函南町・函南町保健福祉センター)
- 5月15日 第18回県グラウンド・ゴルフ大会 (静岡市・三保真崎グラウンドゴルフ場)
- 15日 相談日 (南伊豆町健康福祉センター)
- 24日 東部ブロック春季理事会 (三島市・三島市立社会福祉会館)
- 6月2日 第1回県理事会 (静岡市・県総合福祉会館)
- 3日 女性部研修会 (藤枝市・明治製菓見学他)
- 16日 相談日 (南伊豆町健康福祉センター)
- 17日 第2回県理事会 (静岡市・県総合福祉会館)
- 17日 県定時評議員会 (静岡市・県総合福祉会館)
- 28日 第19回東部フライングディスク大会 (裾野市・裾野市民体育館)
- 7月4日 東部相談部長会議 (函南町・函南町保健福祉センター)
- 15日 相談日 (南伊豆町健康福祉センター)
- 18日 第40回県身体障害者うたの広場 (静岡市・県総合福祉会館)
- 27日 東部文化部長会議 (熱海市・総合福祉センター)
- 8月1日 関東甲信越静岡相談員研修会 (栃木県・ライトキューブ宇都宮)
- 4日 第1回構成団体代表者会議 (静岡市・県総合福祉会館)
- 8日 相談日 (南伊豆町健康福祉センター)
- 9月5日 第67回静岡県身体障害者福祉大会 (静岡市・県総合福祉会館 (台風接近の為中止))
- 5日 相談員研修会 (静岡市・県総合福祉会館 (台風接近の為中止))
- 10日 第28回東部グラウンド・ゴルフ交流会 (函南町・函南町運動公園)
- 16日 相談日 (南伊豆町健康福祉センター)

令和8年

- 10月7日 東部ブロック常任理事会 (函南町・函南町保健福祉センター)
- 13～15日 第50回東部ブロック文化作品展 (熱海市・熱海市福祉センター)
- 15日 相談日 (南伊豆町健康福祉センター)
- 20日 モルック体験会 (静岡市・県総合福祉会館 (体育館))
- 27日 南伊豆町身体障害者福祉会研修旅行 (東京都方面 (防衛省 他))
- 11月4日 東部ブロック秋季理事会 (三島市・三島市立社会福祉会館)
- 6～11日 第51回静岡県障害者文化作品展 (静岡市・県総合福祉会館)
- 14日 相談日 (南伊豆町健康福祉センター)
- 20日 第20回県フライングディスク大会 (静岡市・静岡市中央体育館)
- 12月15日 相談日 (南伊豆町健康福祉センター)
- 1月15日 相談日 (南伊豆町健康福祉センター)
- 19日 県スポーツ部会 (静岡市・県総合福祉会館)
- 19日 県文化部会 (静岡市・県総合福祉会館)
- 19日 県女性部会 (静岡市・県総合福祉会館)
- 26日 県相談部会 (静岡市・県総合福祉会館)
- 30日 東部相談員研修会・防災研修会 (三島市・三島市立社会福祉会館)
- 30日 文化部・東身会報配布 (南伊豆町健康福祉センター)
- 2月11日 女性部交流会 (熱海市・総合福祉センター)
- 16日 相談日 (南伊豆町健康福祉センター)
- 21日 文化部長会議 (三島市・三島市立社会福祉会館)
- 27日 相談部長会議 (函南町・函南町保健福祉センター)
- 3月6日 東部ブロック常任理事会 (函南町・函南町保健福祉センター)
- 8日 東部女性部長会議 (熱海市・総合福祉センター)
- 13日 第3回県理事会 (静岡市・県総合福祉会館)
- 16日 賀茂地区障害者自立支援協議会 (下田市・静岡県下田総合庁舎)
- 16日 相談日 (南伊豆町健康福祉センター)
- 24日 第2回構成団体代表者会議 (静岡市・県総合福祉会館)

令和7年度 南伊豆町身体障害者福祉会決算書

歳入

単位(円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減	説 明
1. 会 費	15,000	19,000	4,000	会 員 数 19名
2. 補 助 金	240,000	240,000	0	社協補助金 130,000円 共同募金会 110,000円
3. 繰 入 金	100,000	70,022	△ 29,978	財政調整基金
4. 寄 付 金	1,000	0	△ 1,000	
5. 雑 収 入	42,000	215,313	173,313	預金利息 県身障 会員研修参加費 他
6. 繰 越 金	49,531	49,531	0	前年度繰越金
歳 入 合 計	447,531	593,866	146,335	

歳出

科 目	予 算 額	決 算 額	不 用 額	説 明
1. 事 務 諸 費	93,000	54,340	38,660	
① 会 議 費	1,000	0	1,000	役員会 総会 費用弁償
② 旅 費	64,000	34,000	30,000	出張旅費
③ 需 用 費	5,000	3,340	1,660	消耗品他賄料
④ 役 員 手 当	22,000	17,000	5,000	役員手当 相談員手当 他
⑤ 備 品 費	1,000	0	1,000	備品費
2. 事 業 費	304,531	437,211	△ 132,680	
① 援 護 費	3,000	3,000	0	年末慰問費
② 福 祉 活 動 費	101,531	60,976	40,555	スポーツ大会 文化作品展 ふれあい発行 防災事業 他
③ 研 修 費	200,000	373,235	△ 173,235	会 員 役 員 研 修
3. 負 担 金	46,000	44,964	1,036	
① 負 担 金	46,000	44,964	1,036	県社会負担金 東部連協負担金相談員会費
4. 財 政 基 金	1,000	0	1,000	
① 財 政 基 金	1,000	0	1,000	財政基金
5. 慶 弔 費	3,000	0	3,000	
① 慶 弔 費	3,000	0	3,000	慶弔費
歳 出 合 計	447,531	536,515	△ 88,984	

前年度繰越金 49,531

当年度歳入額 544,335

歳入総額 593,866

当年度歳出額 536,515

歳出総額 536,515

差引残高 57,351

令和8年度 南伊豆町身体障害者福祉会事業計画

令和7年度は様々の要因により福祉会の運営も厳しくなりました。

令和8年度は県福祉会からの各種事業の助成制度を活用して福祉会活動の充実を図り各種事業が実施できるように努めます。

平成28年4月障害者差別解消法が施行され平成29年3月静岡県障害者差別解消条例が3月成立し、4月から施行された。また、令和3年度民間事業者の合理的配慮に対する義務が努力義務から義務へと法改正された。そして令和6年4月1日から施行された。

障害者差別解消法・静岡県障害者差別解消条例の周知を図るとともに理解をもとめてゆく。また、義足・人工関節を使用する人や内部障がいの人等外見から分からない人が周囲の配慮や援助を必要としていることを知らせるためのマークである「ヘルプマーク」の周知を推進する。

各種研修会等に参加して知識の研鑽に努める。

南伊豆町身体障害者福祉会も南伊豆町、町福祉会社会福祉協議会等と協力して住みやす町づくりを推進する。

また、年間の諸行事を実施することにより会員の交流と、自立をめざし会の活性化に努める。

- 1、入会活動の推進と組織拡充
- 2、会報「ふれあい」の発行
- 3、関係団体及び行政機関との連携強化
- 4、会員、ボランティア等による研修の実施
- 5、県福祉会・東部連協開催行事への参加
- 6、重度障害者慰問活動
- 7、相談員活動の推進

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	月
役員会 県構成団体代表者会議 東部連協常任理事会 (3月23日㊦)	役員会 県相談部会	役員会	役員会(理事・班長) 重度障害者慰問	役員会 東部連協理事会	役員会 東部常任理事会 町福祉会研修旅行	役員会 県身障福祉大会・県相談員研修 (9月11日㊦)	役員会 県構成団体代表者会議 (8月3日㊦)	役員会 会報「ふれあい」発行 関東甲信越静岡ブロック相談員研修会 (7月31日㊦) 長野県	役員会 県福祉会評議員会	役員会 総会 役員会 会報「ふれあい」編集 東部連協理事会	役員会・監査 東部監査会・常任理事会	行事予定

令和8年度 南伊豆町身体障害者福社会予算書

歳入

単位(円)

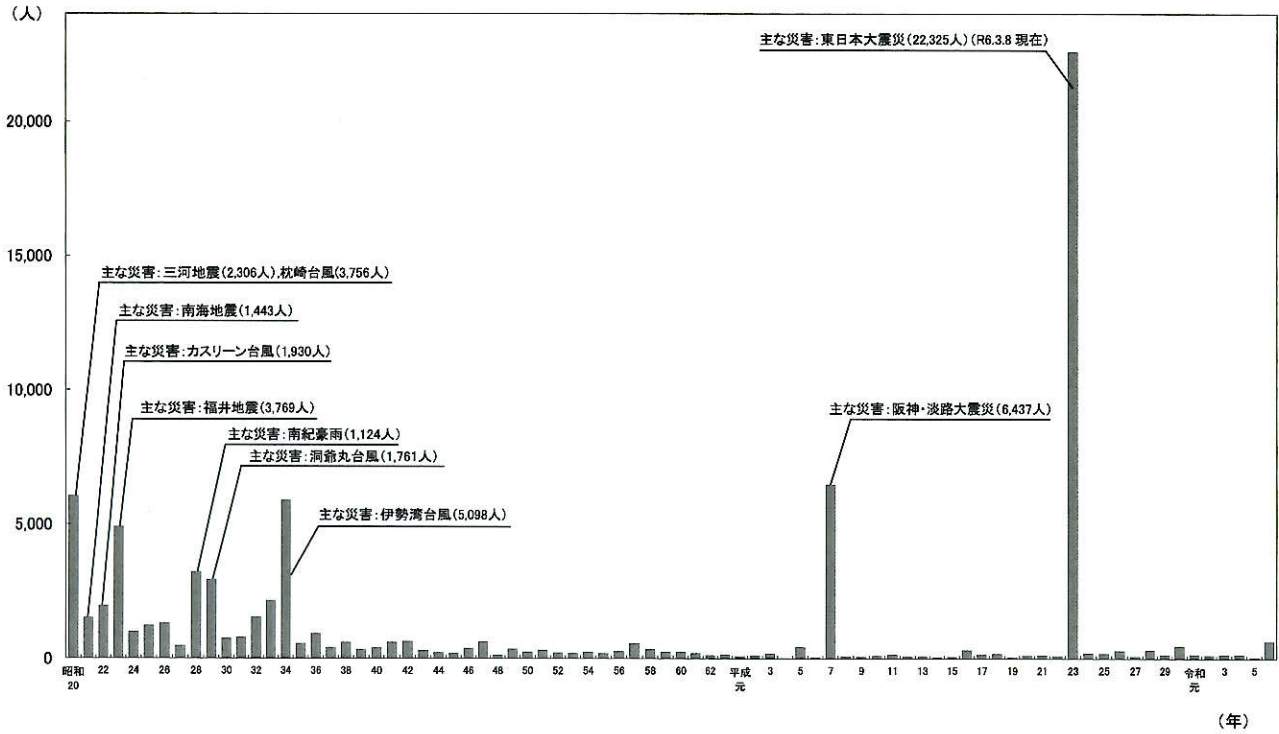
科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説 明
1. 会 費	15,000	15,000	0	会員数 名
2. 補 助 金	240,000	240,000	0	社協補助金 130,000円 共同募金会 110,000円
3. 繰 入 金	100,000	100,000	0	財政調整基金
4. 寄 付 金	1,000	1,000	0	伊豆下田カントリークラブ
5. 雑 収 入	42,000	42,000	0	預金利息 県身障 研修参加費
6. 繰 越 金	57,351	49,531	7,820	前年度繰越金
歳入合計	455,351	447,531	7,820	

歳出

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説 明
1. 事務諸費	93,000	93,000	0	
① 会 議 費	1,000	1,000	0	総会 役員会
② 旅 費	64,000	64,000	0	出張旅費
③ 需 用 費	5,000	5,000	0	消耗品賄料
④ 役員手当	22,000	22,000	0	役員手当 相談員手当 他
⑤ 備 品 費	1,000	1,000	0	備品費
2. 事業費	312,351	304,531	7,820	
① 援 護 費	3,000	3,000	0	年末慰問費
② 福祉活動費	109,351	101,531	7,820	スポーツ大会 文化作品展 ふれあい発行 防災事業 他
③ 研 修 費	200,000	200,000	0	役員・会員研修
3. 負担金	46,000	46,000	0	
① 負 担 金	46,000	46,000	0	県福祉会負担金 東部連協負担金相談員会費
4. 財政基金	1,000	1,000	0	
① 財 政 基 金	1,000	1,000	0	財政基金
5. 慶 弔 費	3,000	3,000	0	
① 慶 弔 費	3,000	3,000	0	慶弔費
歳出合計	455,351	447,531	7,820	

歳入歳出差引残金なし。ただし項目間の流用を認める。

自然災害による死者・行方不明者数



注) 令和6年の死者・行方不明者は内閣府取りまとめによる速報値

出典: 昭和20年は主な災害による死者・行方不明者(理科年表による)。昭和21~27年は日本気象災害年報、昭和28年~37年は警察庁資料、昭和38年以降は消防庁資料をもとに内閣府作成

年	人	年	人	年	人	年	人	年	人
昭和20	6,062	37	381	54	208	8	84	25	173
21	1,504	38	575	55	148	9	71	26	280
22	1,950	39	307	56	232	10	109	27	65
23	4,897	40	367	57	524	11	141	28	297
24	975	41	578	58	301	12	78	29	129
25	1,210	42	607	59	199	13	90	30	452
26	1,291	43	259	60	199	14	48	令和元	159
27	449	44	183	61	148	15	62	2	128
28	3,212	45	163	62	69	16	318	3	150
29	2,926	46	350	63	93	17	148	4	159
30	727	47	587	平成元	96	18	177	5	80
31	765	48	85	2	123	19	41	6	607
32	1,515	49	324	3	190	20	101		
33	2,120	50	213	4	19	21	115		
34	5,868	51	273	5	438	22	89		
35	528	52	174	6	39	23	22,585		
36	902	53	153	7	6,482	24	192		



注) 令和6年の死者・行方不明者は内閣府取りまとめによる速報値

出典: 昭和20年は主な災害による死者・行方不明者(理科年表による)。昭和21~27年は日本気象災害年報、昭和28年~37年は警察庁資料、昭和38年以降は消防庁資料を基に内閣府作成

我が国における昭和20年以降の主な自然災害の状況

年月日	災害名	主な被災地	死者・ 行方不明者数	
昭和20. 1. 13	三河地震 (M6.8)	愛知県南部	2,306人	
9. 17 ~	枕崎台風	西日本 (特に広島)	3,756人	
21.12. 21	南海地震 (M8.0)	中部以西の日本各地	1,443人	
22. 8. 14	浅間山噴火	浅間山周辺	11人	
9. 14 ~	カスリーン台風	東海以北	1,930人	
23. 6. 28	福井地震 (M7.1)	福井平野とその周辺	3,769人	
9. 15 ~	アイオン台風	四国から東北 (特に岩手)	838人	
25. 9. 2 ~	ジェーン台風	四国以北 (特に大阪)	539人	
26.10. 13 ~	ルース台風	全国 (特に山口)	943人	
27. 3. 4	十勝沖地震 (M8.2)	北海道南部, 東北北部	33人	
28. 6. 25 ~	大雨 (前線)	九州, 四国, 中国 (特に北九州)	1,013人	
7. 16 ~	南紀豪雨	東北以西 (特に和歌山)	1,124人	
29. 5. 8 ~	風害 (低気圧)	北日本, 近畿	670人	
9. 25 ~	洞爺丸台風	全国 (特に北海道, 四国)	1,761人	
32. 7. 25 ~	諫早豪雨	九州 (特に諫早周辺)	722人	
33. 6. 24	阿蘇山噴火	阿蘇山周辺	12人	
9. 26 ~	狩野川台風	近畿以東 (特に静岡)	1,269人	
34. 9. 26 ~	伊勢湾台風	全国 (九州を除く, 特に愛知)	5,098人	
35. 5. 23	チリ地震津波	北海道南岸, 三陸海岸, 志摩海岸	142人	
38. 1	昭和38年1月豪雪	北陸, 山陰, 山形, 滋賀, 岐阜	231人	
39. 6. 16	新潟地震 (M7.5)	新潟, 秋田, 山形	26人	
40. 9. 10 ~	台風第23, 24, 25号	全国 (特に徳島, 兵庫, 福井)	181人	
41. 9. 23 ~	台風第24, 26号	中部, 関東, 東北, 特に静岡, 山梨	317人	
42. 7 ~	7, 8月豪雨	中部以西, 東北部	256人	
43. 5. 16	十勝沖地震 (M7.9)	青森県を中心に北海道南部・東北地方	52人	
47. 7. 3 ~	台風第6, 7, 9号及び7月豪雨	全国 (特に北九州, 島根, 広島)	447人	
49. 5. 9	伊豆半島沖地震 (M6.9)	伊豆半島南端	30人	
51. 9. 8 ~	台風第17号及び9月豪雨	全国 (特に香川, 岡山)	171人	
52. 1	雪害	東北, 近畿北部, 北陸	101人	
52. 8. 7 ~	有珠山噴火	北海道	3人	
53. 1. 14	伊豆大島近海の地震 (M7.0)	伊豆半島	25人	
6. 12	宮城県沖地震 (M7.4)	宮城県	28人	
54.10. 17 ~	台風第20号	全国 (特に東海, 関東, 東北)	115人	
55. 12 ~	雪害	東北, 北陸	152人	
57. 7 ~	7, 8月豪雨及び台風第10号	全国 (特に長崎, 熊本, 三重)	439人	
58. 5. 26	日本海中部地震 (M7.7)	秋田, 青森	104人	
7. 20 ~	梅雨前線豪雨	山陰以東 (特に島根)	117人	
10. 3	三宅島噴火	三宅島周辺	-	
12 ~	雪害	東北, 北陸 (特に新潟, 富山)	131人	
59. 9. 14	長野県西部地震 (M6.8)	長野県西部	29人	
61.11. 15 ~	伊豆大島噴火	伊豆大島	-	
平成 2.11. 17 ~	雲仙岳噴火	長崎県	44人	
7. 6. 3	北海道南西沖地震 (M7.8)	北海道	230人	
5. 7. 12	平成5年8月豪雨	全国	79人	
7. 31 ~	8. 7			
7. 1. 17	阪神・淡路大震災 (M7.3)	兵庫県	6,437人	
12. 3. 31 ~	有珠山噴火	北海道	-	
6. 25 ~	17. 3. 31	三宅島噴火及び新島・神津島近海地震 (M6.5)	東京都	1人
16.10. 20 ~	21	台風第23号	全国	98人
10. 23	平成16年 (2004年) 新潟県中越地震 (M6.8)	新潟県	68人	
17. 12 ~	18. 3	平成18年豪雪	北陸地方を中心とする日本海側	152人
19. 7. 16	平成19年 (2007年) 新潟県中越沖地震 (M6.8)	新潟県	15人	
20. 6. 14	平成20年 (2008年) 岩手・宮城内陸地震 (M7.2)	東北 (特に宮城, 岩手)	23人	
22. 12 ~	23. 3	雪害	北日本から西日本にかけての日本海側	131人
23. 3. 11	東日本大震災 (Mw9.0)	東日本 (特に宮城, 岩手, 福島)	22,332人	
23. 8. 30 ~	23. 9. 5	平成23年台風第12号	近畿, 四国	98人
23. 11 ~	24. 3	平成23年の大雪等	北日本から西日本にかけての日本海側	133人
24. 11 ~	25. 3	平成24年の大雪等	北日本から西日本にかけての日本海側	104人
25. 11 ~	26. 3	平成25年の大雪等	北日本から関東甲信越地方 (特に山梨)	95人
26. 8. 20	平成26年8月豪雨 (広島土砂災害)	広島県	77人	
26. 9. 27	平成26年 (2014年) 御嶽山噴火	長野県, 岐阜県	63人	
28. 4. 14及び	4. 16	平成28年 (2016年) 熊本地震 (M7.3)	九州地方	276人
29. 11. 11	30. 3	平成29年の大雪等	北日本から西日本にかけての日本海側	116人
30. 6. 28 ~	7. 8	平成30年 (2018年) 7月豪雨	全国 (特に広島, 岡山, 愛媛)	271人
30. 9. 6	平成30年北海道胆振東部地震 (M6.7)	北海道	43人	
令和 1.10. 10 ~	1.10. 13	令和元年東日本台風	関東, 東北地方	108人
2. 7. 3 ~	2. 7. 31	令和2年 (2020年) 7月豪雨	全国 (特に九州地方)	88人
2. 11	3. 4	令和2年の大雪等	北日本から東日本にかけての日本海側	110人
3. 7. 1 ~	3. 7. 14	令和3年 (2021年) 7月1日からの大雨	全国 (特に静岡)	29人
6. 1. 1	令和6年能登半島地震 (M7.6)	石川県, 新潟県, 富山県	551人	

注1 死者・行方不明者について、風水害は500人以上、雪害は100人以上、地震・津波・火山噴火は10人以上のもののみか、「災害対策基本法」による非常災害対策本部等政府の対策本部が設置されたもの。死者・行方不明者数は令和7年3月末時点のもの。

注2 令和6年能登半島地震は、一連の地震における最大規模の地震 (令和6年1月1日16時10分石川県能登地方の地震) を記載。

出典：気象年鑑、理科年表、警察庁資料、消防庁資料、緊急災害対策本部資料、非常災害対策本部資料、特定災害対策本部資料、兵庫県資料をもとに内閣府作成。

令和8年度 心配ごと相談日 予定表

場 所 南伊豆町社会福祉協議会 (TEL 62-3156)
(南伊豆町加納790)

時 間 9:00 ~ 15:00

相 談 日 令和8年 4月15日(水)
5月15日(金)
6月15日(月)
7月15日(水)
8月 7日(金)
9月15日(火)
10月15日(木)
11月16日(月)
12月15日(火)
令和9年 1月15日(金)
2月15日(月)
3月15日(月)

障害者相談員 竹河 十九巳

連 絡 先 TEL 62-3398
FAX 62-3446
携 帯 090-8731-5201

南伊豆町身体障害者福祉会会員名簿

南中地区 12	竹麻地区 6	南崎地区 6	三浜地区 4
石井 2 入江 武 萩原 恵子	青市 1 藤原良己	下流 6 土屋千代江 平山イト子 平山 峯子 平山 節子 池野 利明 平山喜嘉子	一町田 1 萩原まつ代
加納 1 佐藤みき子	湊 5 大野一美 山田菊江 山田博美 木下美智子 長池喜太郎		子浦 2 山田米三 仲村直司
二条 2 高橋直樹 鈴木 伝		南上地区 2	立岩 1 高木凱民
下賀茂A 4 関本輝代 小林安明 平川勝二 建川節子		青野 1 竹河十九巳	三坂地区 1
下賀茂B 1 竹本三恵		上小野 1 石田富士夫	吉祥 1 稲葉雅樹
上賀茂 2 渡辺忠男 松江 守			

(令和8年6月31日現在)
31名

編集後記

SNS・・・・・・・・・・・・・・・・

フェイクニュース・・・・・・・・

うそがまかりとる時代・・・・

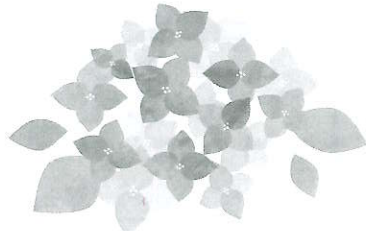
うそがかつ時代・・・・・・・・

倫理の底が抜けた国・・・・

底が抜けた時代か・・・・・・・・

人による支配・・・・・・・・

我が国は・・・・・・・・・・・・ (竹河)



静岡県身体障害者福祉会の歌

友 愛

岡 まさと 作詞
稲沢 祐介 作曲

一 山は動かうごかず
向かいに仰あげば

三 岩にしたたる
朝あつゆ集つどれば

幾世いくよしたしき
富士がねや

やがて大河たいがは
海原うなばらえ

溢あふれる愛は
こだまして

実まれる愛の
証あかしなる

誠実まことの生命いのち
この郷里さとに

幼い友も
老友ろうゆうも

誇ほこりも高たかき
道みちしるべ

こころはひとつ
限かぎりなく

ああ
静岡県身障福祉会

ああ
静岡県身障福祉会

二 風はほのかに
木犀もくせいかおれば

写うつす富岳ふがくの
駿河湾

みなぎる愛を
分けあいて

今昔ことんにしるす
足跡そくせきを

慈愛じあいのこころ
いまここに

ああ
静岡県身障福祉会

